

学則の変更の趣旨等を記載した書類

1. 学則変更（収容定員変更）の内容

北海道医療大学（以下「本学」）は教育基本法、学校教育法及び本学の建学理念に基づき、専門の学術を教授・研究し、有能かつ良識ある専門職能人を養成し、社会の発展に寄与するとともに国民の保健・医療・福祉に貢献し、国際文化の向上を図ることを目的として1974（昭和49）年4月に薬学部（薬学科／衛生薬学科）〔4年制〕を開設した。以降、1996（平成8）年4月に薬学部（総合薬学科）〔4年制〕を開設（学科改組）、2002（平成14）年3月に薬学部（薬学科／衛生薬学科）〔4年制〕を廃止、2006（平成18）年4月に薬学部（薬学科）〔6年制〕を開設、2013（平成25）年3月に薬学部（総合薬学科）を廃止している。

なお、薬学部（以下「本学部」）においては、2008（平成20）年度より3年次において編入学生の受け入れを行っているが、編入学定員について、表1のとおり3年次編入学定員10名を5名に減員し、2年編入学定員4名を新たに設置することに伴い、学則変更（収容定員変更）を行うものであり、本学部の収容定員（1,000名）の変更は行わない。

表1 北海道医療大学 入学定員及び収容定員

学部・学科名称	修業年限	新			現行			備考
		入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員	
薬学部 薬学科	6	160	2年次 4 3年次 5	1,000	160	3年次 10	1,000	
歯学部 歯学科	6	80	—	480	80	—	480	
看護福祉学部 看護学科	4	100	3年次 9	418	100	3年次 9	418	
看護福祉学部 臨床福祉学科	4	80	3年次 9	338	80	3年次 9	338	
心理科学部 臨床心理学科	4	75	3年次 2	304	75	3年次 2	304	
リハビリテーション科学部 理学療法学科	4	80	2年次 5	335	80	2年次 5	335	
リハビリテーション科学部 作業療法学科	4	40	2年次 5	175	40	2年次 5	175	
リハビリテーション科学部 言語聴覚療法学科	4	60	3年次 10	260	60	3年次 10	260	
医療技術学部 臨床検査学科	4	60	—	240	60	—	240	
計	—	735	2年次 14 3年次 35	3,550	735	2年次 10 3年次 40	3,550	

また、本変更は2024（平成36）年3月に完成するが、その間の本学の収容定員の推移（表2）及び本学部の編入学定員の推移（表3）は以下のとおりとなる。

表2 北海道医療大学 収容定員の推移

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	備考
薬学部 薬学科	1,000	999	998	997	996	1,000	
歯学部 歯学科	480	480	480	480	480	480	
看護福祉学部 看護学科	418	418	418	418	418	418	
看護福祉学部 臨床福祉学科	338	338	338	338	338	338	
心理科学部 臨床心理学科	304	304	304	304	304	304	
リハビリテーション科学部 理学療法学科	335	335	335	335	335	335	
リハビリテーション科学部 作業療法学科	175	175	175	175	175	175	
リハビリテーション科学部 言語聴覚療法学科	260	260	260	260	260	260	
医療技術学部 臨床検査学科	—	60	120	180	240	240	2019年4月開設
計	3,310	3,369	3,428	3,487	3,546	3,550	

表3 薬学部 編入学定員の推移

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	備考
薬学部 2年次	—	4	4	4	4	4	
薬学部 3年次	10	5	9	9	9	9	
薬学部 4年次	10	10	5	9	9	9	
薬学部 5年次	10	10	10	5	9	9	
薬学部 6年次	10	10	10	10	5	9	
計	40	39	38	37	36	40	

2. 学則変更（収容定員変更）の必要性

本学部においては、2008（平成20）年度より第3学年への編入学生の受け入れ（編入学定員10名）を行ってきた。受け入れ開始後、2014（平成26）年度までは編入学生数は定員とほぼ同数の9～11名で推移していたが、2015（平成27）年度以降は2～6名の受け入れに留まり、減少傾向にあったことから、編入学制度の在り方について、見直しの必要性が生じていた。（詳細は学生確保の見通しに記載した。）

一方、薬学系人材養成の在り方に関する検討会において、6年制薬学部への編入学・転学部についての提言が取り纏められたことに伴い、薬学部を置く各国公立大学に対して、文部科学省高等教育局より「6年制薬学部への編入学・転学部について」の通知（平成27年3月18日付26文科高第1035号）があったことを契機に、本学部における編入学制度の適切な運用について検討が進められた。

本学の位置する北海道には、現在、国立の北海道大学と私立の北海道科学大学が薬学部を有しているが、いずれも編入学生制度を設けておらず、多様な進路の提供ならびに多様な人材の確保という観点から、本学部の編入学生制度が担う役割は大きい。これらを踏まえて検討した結果、4年制薬学部、医学、歯学、獣医学等の6年制大学、看護学等の医療系4年制大学の卒業生あるいは在学者については、原則として3年次に受け入れ、文系大学卒業生あるいは在学者、理系短期大学や工業系高等専門学校卒業生、医薬、環境、化学技術に関連する専修学校卒業生については、原則として2年次に受け入れるよう編入学制度を見直した。今後も引き続き多様な学生を受け入れるために、今般、現行の3年次編入学制度に加え、新たに2年次編入学制度を設けることとしたものである。

編入学定員については、2年次編入学定員4名を新たに設定するとともに、過去の編入学生受け入れ状況等を勘案して、現行の3年次編入学定員を10名から5名に減員し、本学部の収容定員（1,000名）を変更せずに、編入学定員のみを変更するものである。

なお、編入学試験については、薬学部編入学運営委員会において、志願者の学修歴を精査し、受け入れ後の学修の見込みについて判断できる試験を実施する。（各学年における編入学試験の詳細は学生確保の見通しに記載した。）

3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

今回の学則変更（収容定員変更）は前述のとおり、2年次編入学制度（編入学定員4名）を新たに設けるが、現行の3年次編入学定員を10名から5名に減員することにより、本学部の収容定員（1,000名）を変更せずに、編入学定員のみを変更するものである。編入学生に関する教育課程、教育方法及び履修指導方法、教員組織の内容については、以下のとおりである。

（1）教育課程の変更内容

本学部は6年一貫教育により、「医療人としての薬剤師」に必要な薬（医薬科学）と人（医療科学）を総合的に理解することを目標とし、薬学教育モデル・コアカリキュラムに対応したカリキュラムは、科目間の連携を意識したカリキュラムとなっており、専門教育科目には医療系に特化したオリジナル選択科目やアドバンスト選択科目がある。さらに、学習到達度の向上を目的に、個別対応による学習指導や少人数制の学習支援プログラムも実施している。

2006（平成18）年度より導入された本学部6年制カリキュラムについては、薬学教育モデル・コアカリキュラムの改訂に伴い、2015（平成27）年度入学生より改訂後のカリキュラムが適用されているが、現在も学年進行中であることから、本学則変更（収容定員変更）によって教育課程に変更を加えていない

（2）教育方法及び履修指導方法の変更内容

① 教育方法

1）学習支援室の設置とオフィスアワー制度の活用

学習支援室を教員研究室に隣接して設置し、普段から学生が授業に関することや学生生活全般に関する質問や相談を気軽に行える体制を取っている。加えて、既に導入しているオフィスアワー制度により、学生からの相談に応じている。

2) 学生相談室の設置

本学では、学生が様々な問題に直面した際に適切なアドバイスをし、問題解決を図る目的で保健室内に学生相談室を設置する。相談には臨床心理士資格を有するカウンセラー2名（男性1名、女性1名）が週4日体制で対応している。

3) 履修科目の年間登録上限（CAP制）

学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため、卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、学生が1年間に履修科目として登録することができる単位数の上限を原則45単位としている。

4) 履修単位の認定

2年次編入学生は1年次の配当科目、3年次編入学生は1・2年次の配当科目について、編入学前の大学等での履修状況を勘案しながら個別に既修得単位として認定する方針である。

なお、認定する単位は上限を2年次編入39単位、3年次編入78単位とする。

既修得単位の読替表は資料2のとおりである。

5) 受入れ後の教育上の配慮

文系学部出身者も含めて編入学生は1～2年次に開講される授業科目を受講しないことから、それを補完する目的で、2年次編入学生は「薬学特別演習Ⅰ〈化学系〉」、「同演習Ⅰ〈物理化学系〉」、「同演習Ⅰ〈生物系〉」を、3年次編入学生は「薬学特別演習Ⅱ〈化学系〉」、「同演習Ⅱ〈物理化学系〉」、「同演習Ⅱ〈生物系〉」、「薬学特別演習Ⅲ〈薬理系〉」を必ず履修するよう後述の編入学コーディネーターが指導を行う。これらの科目はいずれも選択科目であり、少人数制での復習を加味した演習型式により、前学年次における各基礎薬学科目の理解度を深め、編入学年次以降の学修への基礎を固めるために開講する。

また、多様な学修歴を持つ編入学生に対して、医療人としての素養を養成する医療基盤科目として「医療福祉活動演習」を履修するよう編入学コーディネーターが強く推奨する。当該科目も選択科目であるが、医療・福祉施設などにおける活動を理解するために、講義だけではなく、現場における集中的な体験学習を通じて、地域社会における薬剤師の役割とその将来性について総合的に学ぶために開講する。さらに、授業時間以外にも各教員が個別指導を担当する。

② 履修指導方法

1) 編入学生ガイダンスの実施

入学時に編入学生ガイダンスを実施し、履修方法に関する事項の他に、学生生活に必要な事項、総合図書館の利用方法等について説明を行う。また、当該ガイダンスの翌日に薬学部執行部を中心とした教員並びに既に在籍する編入学生との懇談会を実施し、早期に学生生活に順応できるように動機付けを図る。

2) 編入学コーディネーターの配置

編入学運営委員会のもとに、編入学コーディネーターを配置し、編入学生一人ひとりに対し、本学部の卒業認定に必要な全学教育科目並びに専門教育科目の不足分の単位を4年間あるいは5年間で修得するよう指導を行う。また、編入学生の学生生活全般や修学上の諸問題に対する指導助言なども行う。編入学コーディネーターは、編入学生の履修モデル（資料3）に示すように各自の履修計画を作成し、履修科目と受講状況、成績等を常に把握し、個別にきめ細かい指導助言を行う。

3) カリキュラムガイダンスの実施

各学年で各学期の初めに、教務部スタッフや学生担任を中心に授業日程、履修方法、進級条件等についての指導を行っているが、編入学生も含めて実施する。

4) 学力到達度試験の実施

2・3年次の前期開始時に、対象学年の全学生を対象に学力到達度試験を行っている。当該試験は、前学年で行われた授業全般について基礎的な内容を理解しているか学習理解度を確認することを目的として行う試験であり、試験の成績は、担任教員を通じて本人にフィードバックされ、また保護者にも郵送で成績を送付するなど教育・学習指導に活用している。編入学生についても、通常学生と同様に全員受験を義務付け、編入学コーディネーターを通じてのフィードバック、保護者への成績通知を行う。当該試験は、教育的背景の異なる編入学生についての学力詳細を把握する極めて重要な試験として位置付けており、入学後の履修・学習指導に活用する。

- －資料 1－ 薬学部薬学科 編入学生 時間割
- －資料 2－ 薬学部薬学科 編入学生 既修得単位の読替表
- －資料 3－ 薬学部薬学科 編入学生 履修モデル
- －資料 4－ 薬学部薬学科 教育課程等の概要

(3) 教員組織の変更内容

本学部の教員組織は、薬剤師という専門職能人の養成を教育目的としていることから、その専門教育課程に対応できるよう薬剤師、医師、獣医師の資格を取得した専任教員で主に編成されている。薬剤師である専任教員は、十分な実務実績もしくは教育実績を備えた教員である。また、それぞれの専門領域を教授できるよう教員を適切に配置している。現時点で 66 名の専任教員を配置しており、職位の内訳は、教授 16 名、准教授 21 名、講師 14 名、助教 13 名、助手 2 名となっており、設置基準上必要専任教員数 32 名を大幅に上回っている。

今回の学則変更（収容定員変更）に伴う教員組織の変更はないが、薬学部教育水準の維持向上及び教育研究の活性化に支障がないものとする。

(4) 大学全体の施設・設備の変更内容

本学部が設置されている当別キャンパスは、札幌市に隣接する当別町の田園地帯に位置し、緑豊かな丘陵を背負い、前方には石狩平野が広がる、自然豊かな教育環境である。交通面においては、JR 学園都市線の「北海道医療大学駅」は当別キャンパスと直結されており、徒歩 1 分といった利便性に優れ、札幌駅から北海道医療大学駅間が約 40 分のアクセスとなっている。

当別キャンパスの校地総面積は、現時点で大学設置基準面積 36,948.00 m²に対して、296,253.28 m²（大学設置基準に算定可能面積 157,628.37 m²）であり、大学設置基準面積を大きく上回っている。

また、本学部を設置する当別キャンパスの現時点での総校舎面積は 79,797.13 m²であり、使用する校舎については、薬学部棟にある大講義室 1 室（260 名収容可能）、講義室 1 室（96 名収容可能）の他、中央講義棟（10 階建て：15,973.01 m²）のうち、主に本学部が使用している 3 階フロアには大講義室が 3 室（各 211 名収容可能）及び 4 階フロアには大講義室が 2 室（各 241 名収容可能）が整備されており、今回の学則変更（収容定員変更）に伴う大学全体の施設・設備の内容に変更はないものの、第 2 学年次編入学定員を新たに設けた場合にも対応可能である十分な規模を有しており、教育上の支障がないものとする。

【前期】

		I 講時	II 講時	III 講時	IV 講時	V 講時
月	1年	多職種連携入門 基礎薬学概論	多職種連携入門 基礎薬学概論	運動科学演習 I オーラルイングリッシュA	運動科学演習 I オーラルイングリッシュA	
	2年		微生物学	解剖生理学III	病態生理総論	
	3年	毒性学	薬物療法学III	公衆衛生学		
火	1年	基礎生理学	(選)基礎物理学演習	(選)基礎化学演習 I		
	2年	有機薬化学 I	基礎生化学	オーラルイングリッシュB	物理化学 I	
	3年		薬物療法学V	生物薬剤学 I	(選)医療福祉活動演習 (福祉/地域医療)	(選)医療福祉活動演習 (福祉/地域医療)
水	1年	(選)基礎生物学演習	数学	文章指導 早期体験学習	文章指導 早期体験学習	文章指導 早期体験学習
	2年	製剤学	無機薬化学	(選)薬学特別演習 I <化学系>	オーラルイングリッシュB	
	3年	薬物療法学 II	機器分析学	(選)薬学特別演習 II <化学系>		
木	1年	化学通論 I	物理学	自然科学実習 早期体験学習	自然科学実習 早期体験学習	自然科学実習 早期体験学習
	2年	(選)医療社会史	(選)中級ドイツ語 (選)中級フランス語		生薬学	
	3年	薬学英语 I	薬学英语 I	衛生化学	(選)薬学特別演習 III <薬理系>	
金	1年	(選)生命倫理学入門 (選)哲学入門	生物学	自然科学実習 早期体験学習	自然科学実習 早期体験学習	自然科学実習 早期体験学習
	2年	(選)日本の小説	医療倫理学	薬理学総論	分析化学 II	
	3年	有機薬化学 III	薬物療法学 IV	分子細胞生物学	(選)薬学特別演習 II <生物系>	(選)薬学特別演習 II <物理化学系>

【後期】

		I 講時	II 講時	III 講時	IV 講時	V 講時
月	1年	<前期追再試験>	基礎有機化学	(選)運動科学演習 II	英語 A	
	2年	<前期追再試験>	実務薬学入門	英語 B	臨床微生物学	(選)薬学特別演習 II <物理化学系>
	3年	(選)局方試験法	薬物療法学 VI	(選)医療推計学 (選)医療福祉活動演習 (在宅/災害医療)	(選)有機構造分析学 (選)医療福祉活動演習 (在宅/災害医療)	(選)医療福祉活動演習 (在宅/災害医療)
火	1年		解剖生理学 I	薬用植物学	医療薬学概論	
	2年	環境衛生学	物理化学 II	(選)心理学 (選)医療の経済学 (選)医療の人類学	医薬品情報学	(選)薬学特別演習 II <生物系>
	3年	薬物療法学 VIII	放射薬品学	免疫学	社会薬学 I	
水	1年	解剖生理学 II	分析化学 I	化学通論 II	(選)対人関係論入門 (選)医療の法学	(選)基礎化学演習 II
	2年	診断学	有機薬化学 II	基礎薬学 I 実習 基礎薬学 II 実習	基礎薬学 I 実習 基礎薬学 II 実習	基礎薬学 I 実習 基礎薬学 II 実習
	3年	生物薬剤学 II	実務薬学 I	基礎薬学 III 実習 医療薬学 I 実習	基礎薬学 III 実習 医療薬学 I 実習	基礎薬学 III 実習 医療薬学 I 実習
木	1年	情報科学	情報科学	自然科学実習	自然科学実習	自然科学実習
	2年	製剤工学	代謝生化学	基礎薬学 I 実習 基礎薬学 II 実習	基礎薬学 I 実習 基礎薬学 II 実習	基礎薬学 I 実習 基礎薬学 II 実習
	3年	薬物速度論	食品衛生学	基礎薬学 I 実習 基礎薬学 II 実習	基礎薬学 I 実習 基礎薬学 II 実習	基礎薬学 I 実習 基礎薬学 II 実習
金	1年	(選)初級ドイツ語	(選)初級フランス語	自然科学実習	自然科学実習	自然科学実習
	2年	有機化学演習	薬物療法学 I	基礎薬学 I 実習 基礎薬学 II 実習	基礎薬学 I 実習 基礎薬学 II 実習	基礎薬学 I 実習 基礎薬学 II 実習
	3年	薬物療法学 VII	生体分子の化学	基礎薬学 I 実習 基礎薬学 II 実習	基礎薬学 I 実習 基礎薬学 II 実習	基礎薬学 I 実習 基礎薬学 II 実習

※第4～6学年は前期・後期ともに日割りの時間割となる。

薬学部薬学科 編入学生 既修得単位の読替表

資料 2

区分	既修得科目				2年次編入認定科目		3年次編入認定科目				
	科目名	年次	単位数	評価	科目名	単位数	科目名	単位数			
全学教育科目	教養教育	導入科目				基礎ゼミナール(自然科学総合)	2	基礎ゼミナール(自然科学総合)	2		
						文章指導(人文・社会科学総合)		文章指導(人文・社会科学総合)			
		教養科目					人間と思想(哲学入門)	4	人間と思想(哲学入門)	6	
							人間と思想(生命倫理学入門)		人間と思想(生命倫理学入門)		
									人間と思想(心理学)		
									人間と文化(日本の小説)		
									人間と文化(医療社会史)		
									人間と文化(医療の人類学)		
						人間と社会(対人関係論入門)					
						人間と社会(医療の法学)					
	基礎教育	外国語科目				英語 I(オーラル・イングリッシュA)	1	英語 I(オーラル・イングリッシュA)	1		
								英語 I(オーラル・イングリッシュB)	1		
							英語 II(英語A)	1	英語 II(英語A)	1	
								英語 II(英語B)	1		
							フランス語(初級フランス語)	1	フランス語(初級フランス語)	1	
							ドイツ語(初級ドイツ語)		フランス語(中級フランス語)		
		健康・運動科学科目					運動科学演習(運動科学演習 I)	1	運動科学演習(運動科学演習 I)	1	
							運動科学演習(運動科学演習 II)	1	運動科学演習(運動科学演習 II)	1	
		情報科学科目				情報科学(情報科学)	2	情報科学(情報科学)	2		
		自然科学科目					数学(数学)	2	数学(数学)	2	
						物理学(物理学)	2	物理学(物理学)	2		
						化学(化学通論 I)	2	化学(化学通論 I)	2		
					化学(化学通論 II)	2	化学(化学通論 II)	2			
					生物学(生物学)	2	生物学(生物学)	2			
					生物学(基礎生理学)	2	生物学(基礎生理学)	2			
医療基盤教育	医療基盤科目				自然科学実験(自然科学実習)	3	自然科学実験(自然科学実習)	3			
					個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)	2	個体差健康科学(個体差健康科学・多職種連携入門)	2			
					地域連携(早期体験学習)	2	地域連携(早期体験学習)	2			
専門教育科目(必修科目)	薬学基礎	物理				分析化学 I	1	分析化学 I	1		
								分析化学 II	2		
								無機薬化学	1		
		化学					薬用植物学	1	薬用植物学	1	
							基礎有機化学	1	基礎有機化学	1	
								生薬学	1		
							有機薬化学 I	2			
	生物						有機薬化学 II	2			
							有機化学演習	1			
							解剖生理学 I	1	解剖生理学 I	1	
							解剖生理学 II	1	解剖生理学 II	1	
								解剖生理学 III	1		
								基礎生化学	1		
								微生物学	1		
	衛生薬学	衛生						臨床微生物学	1		
								代謝生化学	1		
	医療薬学	薬理/病態/薬物治療						環境衛生学	2		
								病態生理総論	1		
		薬剤						薬理学特論	1		
								診断学	1		
実務薬学/社会薬学/他	実務						薬物療法学 I	1			
							製剤学	1			
実習	基本						製剤工学	2			
							実務薬学入門	1			
							医薬品情報学	1			
							基礎薬学概論	1			
							医療薬学概論	1			
							基礎薬学 I 実習	2			
							基礎薬学 II 実習	2			

薬学部薬学科 編入学生 履修モデル

資料3

①本学で履修する科目(数字は単位数) ②単位認定する科目(数字は単位数)

種類	科目区分	授業科目	授業題目	単位数	開講年次・時間数												履修モデル1 2年次編入 一般の大学卒	履修モデル2 3年次編入 医療系大学等卒	備考		
					必修	選択	1学年 前期	1学年 後期	2学年 前期	2学年 後期	3学年 前期	3学年 後期	4学年 前期	4学年 後期	5学年 前期	5学年 後期				6学年 前期	6学年 後期
教養教育	導入科目	基礎ゼミナール	自然科学総合	2		30												1科目2単位以上 修得 3科目 6単位以上 修得			
		文章指導	人文・社会科学総合	2	30																
	教養科目	人間と思想	人間と思想	哲学入門	2	30															
				生命倫理学入門	2	30															
		人間と文化	人間と文化	心理学	2		30														
				日本の小説	2		30														
				医療社会史	2		30														
				医療の人類学	2		30														
		人間と社会	人間と社会	対人関係論入門	2	30															
				医療の法学	2	30															
		医療の経済学	2		30																
基礎教育	外国語科目	英語 I	オール・イングリッシュA	1	30																
			オール・イングリッシュB	1	30																
		英語 II	英語A	1		30															
			英語B	1		30															
		フランス語	初級フランス語	1		30															
	健康・運動 科学科目 情報科学科目	ドイツ語	ドイツ語	初級ドイツ語	1		30														
				中級ドイツ語	1		30														
		健康・運動 科学科目	運動科学演習	運動科学演習 I	1	30															
				運動科学演習 II	1	30															
		自然科学 科目	情報科学	情報科学	2	30															
			数学	数学	2	30															
				物理学	物理学	2	30														
			化学	化学	化学通論 I	2	30														
					化学通論 II	2	30														
			生物学	生物学	生物学	2	30														
基礎生物学	基礎生物学			2	30																
自然科学入門	自然科学入門		基礎化学演習 I	1	30																
		基礎化学演習 II	1	30																	
医療基礎 科目	医療基礎 科目	医療基礎科目	基礎生物学演習	1	30																
			基礎物理学演習	1	30																
	地域連携	地域連携	自然科学実習	3	135																
			個別健康科学	2	30																
			早期体験学習	2	30																
医療倫理	医療倫理	2		30																	
全学教育科目 合計38単位以上修得(うち必修28単位、選択10単位)					認定単位数(うち必修単位数)												32(24)	38(28)			
					履修単位数(うち必修単位数)												6(4)	0(0)			
					合計単位数(うち必修単位数)												38(28)	38(28)			
薬学基礎	物理	分析化学 I		1	20																
		分析化学 II		2	30																
		無機化学		1	20																
		物理化学 I		2	30																
		物理化学 II		2	30																
	化学	機器分析学		2		30															
		放射線化学		2		30															
		薬用植物学		1	20																
		基礎有機化学		1	20																
		生薬学		1	20																
		有機化学 I		2	30																
		有機化学 II		2	30																
		有機化学演習		1	30																
		有機化学 III		2	30																
		生体分子の化学		1	20																
	生物	医薬品化学		1	20																
		解剖生理学 I		1	20																
		解剖生理学 II		1	20																
		解剖生理学 III		1	20																
		基礎生化学		1	20																
		微生物学		1	20																
		臨床微生物学		1	20																
		代謝生化学		1	20																
		分子細胞生物学		2	30																
		免疫学		2	30																
衛生	環境衛生学		2	30																	
	公衆衛生学		2	30																	
	衛生化学		1	20																	
	毒性学		1	20																	
	食品衛生学		2	30																	
医療薬学	薬理/ 病態/ 薬物治療	薬理総論		1	20																
		薬理学総論		1	20																
		診断学		1	20																
		薬物療法 I		1	20																
		薬物療法 II		1	20																
		薬物療法 III		1	20																
		薬物療法 IV		1	20																
		薬物療法 V		1	20																
		薬物療法 VI		1	20																
		薬物療法 VII		1	20																
	薬物療法 VIII		1	20																	
	医薬品安全		1	20																	
	臨床検査医学		1	20																	
	薬剤	製剤学		1	20																
		製剤工学		2	30																
生物薬剤学 I			2	30																	
生物薬剤学 II			1	20																	
薬物速度論			1	20																	
実務	実務薬学入門		1	20																	
	実務薬学 I		2	30																	
	実務薬学 II		2	30																	
	地域医療学		2	30																	
	薬利疫学		1	20																	
その他	社会薬学 I		1	20																	
	社会薬学 II		1	20																	
	基礎薬学概論		1	20																	
	医療薬学概論		1	20																	
	薬学英語 I		1	30																	
統合演習	実践	実務実習前実践演習 I		2	60																
		実務実習前実践演習 II		2	60																
		実務実習前実践演習 III		2	60																
	複合	基礎薬学複合演習 I		1									30								
		基礎薬学複合演習 II		1									30								
		基礎薬学複合演習 III		1									30								
		衛生薬学複合演習		1									30								
		医療薬学複合演習 I		1									30								
	総合	医療薬学複合演習 II		1									30								
		実務薬学複合演習		1									30								
		基礎薬学総合演習		3									90								
		衛生薬学総合演習		2									60								
		医療薬学総合演習 I		3									90								
		医療薬学総合演習 II		2									60								

教育課程等の概要

(薬学部薬学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学 教育 科目	基礎ゼミナール(自然科学総合)	1後		2		○			1	2					兼1	オムニバス・共同
	文章指導(人文・社会科学総合)	1後		2		○			3						兼2	オムニバス・共同 ※演習
	人間と思想(哲学入門)	1前		2		○									兼1	
	人間と思想(生命倫理学入門)	1前		2		○									兼1	
	人間と思想(心理学)	2前		2		○									兼1	
	人間と文化(日本の小説)	2前		2		○									兼1	
	人間と文化(医療社会史)	2前		2		○									兼1	
	人間と社会(医療の人類学)	2後		2		○									兼1	
	人間と社会(対人関係論入門)	1後		2		○									兼1	
	人間と社会(医療の法学)	1後		2		○					1				兼1	
	人間と文化(医療の経済学)	2後		2		○									兼1	
	英語 I (オーラル・イングリッシュA)	1前	1			○				1					兼1	共同
	英語 I (オーラル・イングリッシュB)	2前	1			○									兼3	共同
	英語 II (英語A)	1後	1			○				1					兼2	共同
	英語 II (英語B)	2後	1			○									兼3	共同
	フランス語(初級フランス語)	1後		1		○									兼1	
	フランス語(中級フランス語)	2前		1		○									兼1	
	ドイツ語(初級ドイツ語)	1後		1		○									兼1	
	ドイツ語(中級ドイツ語)	2前		1		○									兼1	
	運動科学演習(運動科学演習 I)	1前	1				○								兼3	共同
	運動科学演習(運動科学演習 II)	1後		1			○								兼3	共同
	情報科学(情報科学)	1後	2			○				1					兼1	共同
	数学(数学)	1前	2			○					1					
	物理学(物理学)	1前	2			○					1					
	化学(化学通論 I)	1前	2			○				1						
	化学(化学通論 II)	1後	2			○				1						
	生物学(生物学)	1前	2			○					1					
	生物学(基礎生理学)	1後	2			○					1					
	自然科学入門(基礎化学演習 I)	1前		1			○			1		1			兼1	共同
	自然科学入門(基礎化学演習 II)	1後		1			○			1					兼1	共同
	自然科学入門(基礎生物学演習)	1前		1			○				1					※講義
	自然科学入門(基礎物理学演習)	1前		1			○				1					
	自然科学実験(自然科学実習)	1通	3					○		1	3	2			兼3	オムニバス・共同
	個体差健康科学 (個体差健康科学・他職種連携入門)	1前	2				○			1	1	2			兼22	オムニバス・共同
	地域連携(早期体験学習)	1前	2				○			3	9	7	2			オムニバス・共同
	地域連携(*メディカルカフェをつくる)	2・3通			[2]	○				1					兼7	共同
	医療倫理(医療倫理学)	2前	2			○						1				
小計(37科目)	—	—	28	31	2	—	—	—	5	10	9	2	0	兼49		
専門 教育 科目 (必修 科目)	分析化学 I	1後	1			○			1							
	分析化学 II	2前	2			○			1							
	無機薬化学	2前	1			○				1						
	物理化学 I	2前	2			○			1							
	物理化学 II	2後	2			○			1							
	機器分析学	3前	2			○					1					
	放射薬品学	3後	2			○				1						
	薬用植物学	1後	1			○				1	1					オムニバス
	基礎有機化学	1後	1			○			1							
	生薬学	2前	1			○				1						
	有機薬化学 I	2前	2			○			1							
	有機薬化学 II	2後	2			○			1							
	有機化学演習	2後	1				○			2						オムニバス
	有機薬化学 III	3前	2			○				1						
	生体分子の化学	3後	1			○						1				
	医薬品化学	4前	1			○						1				
	解剖生理学 I	1前	1			○			2	1						オムニバス
	解剖生理学 II	1後	1			○			1	2						オムニバス
	解剖生理学 III	2前	1			○			1	3	1				兼1	オムニバス・共同(一部)
	基礎生化学	2前	1			○			1	1	1					オムニバス
微生物学	2前	1			○			1								
臨床微生物学	2後	1			○			1								
代謝生化学	2後	1			○			1		1					オムニバス	

専門教育科目(必修科目)	分子細胞生物学	3前	2		○		1	1							オムニバス・共同(一部)
	免疫学	3後	2		○		1	1							オムニバス
	環境衛生学	2後	2		○			1							
	公衆衛生学	3前	2		○				1						
	衛生化学	3前	1		○			1							
	毒性学	3前	1		○			1							
	食品衛生学	3後	2		○		1								
	毒性影響と評価	4前	1		○		1	2							オムニバス
	病態生理総論	2前	1		○		4	2							オムニバス
	薬理学総論	2前	1		○		1	1							オムニバス
	診断学	2後	1		○		2								オムニバス
	薬物療法学 I	2後	1		○			1							
	薬物療法学 II	3前	1		○		1								
	薬物療法学 III	3前	1		○			2							オムニバス
	薬物療法学 IV	3前	1		○		1	1							オムニバス
	薬物療法学 V	3前	1		○		2		1						兼1 オムニバス
	薬物療法学 VI	3後	1		○		1	2							兼1 オムニバス
	薬物療法学 VII	3後	1		○			1							兼1 オムニバス
	薬物療法学 VIII	3後	1		○		2								オムニバス
	医薬品安全	4前	1		○		2	2							オムニバス
	臨床検査医学	4前	1		○		2								オムニバス
	製剤学	2前	1		○		1		1						共同(一部)
	製剤工学	2後	2		○		1		1						共同(一部)
	生物薬剤学 I	3前	2		○		1								
	生物薬剤学 II	3後	1		○		1								
	薬物速度論	3後	1		○			1							
	薬物送達学	4前	1		○			1							
	臨床薬物動態学	4前	2		○		1	1							オムニバス・共同(一部)
	実務薬学入門	2後	1		○		1	1	3						オムニバス
	医薬品情報学	2後	1		○		1								
	実務薬学 I	3後	2		○		1		1						オムニバス
	実務薬学 II	4前	2		○		1		1						オムニバス
	地域医療学	4後	2		○			1	2						オムニバス
	薬剤疫学	4後	1		○		1								
	社会薬学 I	3後	1		○				1						兼1 オムニバス
	社会薬学 II	4前	1		○			1	2						オムニバス、 オムニバス・共同(一部)
	基礎薬学概論	1前	1		○		4	3							オムニバス
	医療薬学概論	1後	1		○		4	2	1						オムニバス
	薬学英语 I	3前	1		○			1							兼1 オムニバス
	薬学英语 II	4後	1		○		14	17	11	13	2				オムニバス・共同
	実務実習前実践演習 I	4後	2			○	5	9	2	1					オムニバス・共同
	実務実習前実践演習 II	4後	2			○	7	4	1						オムニバス・共同
	実務実習前実践演習 III	4後	2			○	2	4	6						オムニバス・共同
	基礎薬学複合演習 I*	6前	1			○		2	1						オムニバス
	基礎薬学複合演習 II*	6前	1			○	2	2	1						オムニバス
	基礎薬学複合演習 III*	6前	1			○	2	3							オムニバス
	衛生薬学複合演習*	6前	1			○	2	2	3						兼1 オムニバス
	医療薬学複合演習 I*	6前	1			○	2	2							オムニバス
	医療薬学複合演習 II*	6前	1			○	2	2							オムニバス
	実務社会薬学複合演習*	6前	1			○	2	2	3						兼1 オムニバス
基礎薬学総合演習	6後	3			○	5	9	3	1					オムニバス・共同	
衛生薬学総合演習	6後	2			○	2	4	3						兼1 オムニバス・共同	
医療薬学総合演習 I	6後	3			○	4	3							兼1 共同	
医療薬学総合演習 II	6後	2			○	5	3	4						オムニバス・共同	
実務社会薬学総合演習	6後	3			○	2	4	3						兼1 オムニバス・共同	
基礎薬学 I 実習	2後	2				○	2	2	1	3				オムニバス・共同	
基礎薬学 II 実習	2後	2				○	1	4	1	3				オムニバス・共同	
衛生薬学実習	3前	2				○	1	2	1	1				共同	
基礎薬学 III 実習	3後	2				○	2	2	1					オムニバス・共同	
医療薬学 I 実習	3後	2				○	3	2		2				兼1 オムニバス・共同	
医療薬学 II 実習	4前	2				○	3	2	1	2				オムニバス・共同	
医療薬学 III 実習	4後	4				○	2	1	5	1				オムニバス・共同	
実務実習(病院)	4後~5通	10				○	1	1	4					共同	
実務実習(薬局)	4後~5通	10				○	1	1	4					共同	
総合薬学研究	4後~6通	10				○	14	17	11	13	2			共同	
小計(88科目)	—	154	0	0	—		14	18	11	13	2	兼4			
医療推計学	3前		1		○		1		1					オムニバス	
有機構造分析学	3後		1		○			1							
局方試験法	3後		1		○			1	1					オムニバス	
生体機能診断学	4前		1		○		1	1						オムニバス	
臨床薬理学	4前		1		○		4	2						オムニバス	
遺伝子工学	4前		1		○		1								
漢方薬学概論	4前		1		○			1							

専門教育科目 (選択科目)	薬学特別演習Ⅰ	2通	1		○		3	2	1				オムニバス・共同(一部)
	薬学特別演習Ⅱ	3通	1		○		3	3					オムニバス・共同(一部)
	薬学特別演習Ⅲ	3通	1		○			1					
	薬学特別演習Ⅳ	4前	1		○		6	8	3	6			オムニバス・共同 ※講義
	医療福祉活動演習 (コミュニケーション)	2・3・4・5・6通	1		○		1					兼1	共同 ※講義
	医療福祉活動演習(福祉)	2・3・4・5・6通	1		○		2	6	7			兼1	共同 ※講義
	医療福祉活動演習(在宅)	2・3・4・5・6通	1		○			1	3	2		兼1	共同 ※講義
	グローバルコミュニケーションⅠ	1・2・3・4・5・6通	1		○		5	2					共同
	グローバルコミュニケーションⅡ	1・2・3・4・5・6通	1		○		5	2					共同
	薬学基礎研究Ⅰ	2通		[1]		○	16	21	14	13	2		共同
	薬学基礎研究Ⅱ	3通		[1]		○	16	21	14	13	2		共同
	薬学基礎研究Ⅲ	4前		[1]		○	16	21	14	13	2		共同
	応用有機化学特論*	4前	1		○		1	4	1				オムニバス
	応用物理化学特論*	4前	1		○		2	2	1				オムニバス
	応用生物学特論*	4前	1		○		2	3	1				オムニバス
	応用衛生学特論*	4前	1		○		1	2	1			兼1	オムニバス
	臨床栄養学*	6前	1		○		1					兼1	共同
	臨床画像解析学*	6前	1		○		1						
	処方解析演習*	6前	1		○		1						
	看護実践学*	6前	1		○		1					兼1	共同
	フィジカルアセスメント*	6前	1		○		1		1				オムニバス
	レギュラトリーサイエンス*	6前	1		○		1						
	ヘルスエコノミクス*	6前	1		○		1						
	小計(30科目)	—	0	27	3	—	16	21	14	13	2	兼6	
	合計(155科目)	—	182	58	5	—	16	21	14	13	2	兼58	
	学位又は称号	学士(薬学)					学位又は学科の分野	薬学関係					
	卒業要件及び履修方法					授業期間等							
	・全学教育科目38単位以上(必修28単位、選択10単位)、専門教育科目164単位以上(必修108単位、選択10単位、実習16単位、実務実習20単位、総合薬学研究10単位)、合計202単位以上修得。 (履修科目の登録の上限:45単位(年間)) ・単位数欄が[]の科目は、卒業単位に含まない。 ・*は、アドバンス科目を示す。					1学年の学期区分			2学期				
						1学期の授業期間			15週				
						1時限の授業時間			80分				